

印西市景観計画（案）

市民意見公募の意見概要

○市民意見公募の結果

案 件	印西市景観計画（案）		
募集期間	平成30年1月5日(金)～平成30年1月18日(木)		
意見の提出	7件（2人）		
意見の取扱い	修 正	案を修正するもの	1 件
	既記載	既に案に取り込んでいるもの	0 件
	参 考	案には反映できないが今後の参考とするもの	0 件
	その他	案には反映できないが意見として伺ったもの。	6 件

●印西市景観計画（案）に対する市民意見公募での意見及び対応

※いただいたご意見については、趣旨を損なわない範囲で要約し、取りまとめさせていただきました。

番号	意見の概要	意見の対応
1 - ①	P 2 2 「■ 本市を代表する広域骨格景観軸として、品格と賑わいのある景観の形成に配慮する。」を「■ 本市を代表する広域骨格景観軸として、品格と賑わいのある景観の形成を図る。」に修正。	意見の取り扱い【その他】 景観形成の方針については、平成29年3月に策定した「印西市景観まちづくり基本計画」の類型別景観形成方針を踏襲した内容となっており、各項目の基本的な考え方を示したものとなっております。 なお、景観計画では、交通安全・防犯・夜間景観について具体的に踏み込んだ計画とはなっておりませんので、いただいたご意見につきましては今後の参考とさせていただきます。
1 - ②	P 2 2 「■ 空間軸を活かした樹木や草花の景観形成と維持管理を考慮する。」を「■ 空間軸を活かした樹木や草花による景観の形成と適正な維持管理に努め、緑で豊かで潤いのある広域骨格景観軸の形成を図る。」に修正。	
1 - ③	P 2 2 「■ 安全・安心のもと、快適な道路景観の形成に配慮する。」を「■ 歩行者などの快適で安全な通行と防犯や夜間景観を考慮した道路景観の形成を図る。」に修正	
1 - ④	P 2 2 「■ 街路樹や草花などは、適正な維持管理に努め、緑豊かで潤いのある道路景観の形成に配慮する。」を「■ 街路樹や草花などは、適正な維持管理に努め、緑豊かで潤いのある道路景観の形成を図る。」に修正	
1 - ⑤	P 3 9 「□ 国道464号等の道路や鉄道からの見え方に配慮し、自然景観や田園景観、沿道景観を阻害しない表示位置・大きさとする。」を「□ 広域骨格景観軸や道路景観軸の道路や鉄道からの見え方や交通安全の確保に配慮し、自然景観や田園景観、沿道景観を阻害しない表示位置・大きさとする。」に修正	意見の取り扱い【その他】 屋外広告物の表示に関する景観形成配慮指針について、道路からの見え方を「国道464号等の道路」と表現したのは、全ての道路からの見え方に配慮し、更に、広域骨格景観軸である国道464号を強調したものです。 なお、景観計画では、交通安全について具体的に踏み込んだ計画とはなっておりませんので、いただいたご意見につきましては今後の参考とさせていただきます。

番号	意見の概要	意見の対応
1 - ⑥	P 4 3 「道路、河川、公園緑地、公共建築物などの公共施設の整備等については、良好な景観の形成をリードしていくよう努めるとともに、景観への配慮点を整理したガイドライン等を策定します。また、公共施設の整備等を実施する際に、関係各部署と調整しながら推進する体制をつくります。」を「道路、河川、公園施設、公共建築物等公共施設の整備・維持管理については、景観への配慮点を整理したガイドライン等を策定し、良好な景観の形成をリードしていくよう推進していきます。」に修正	意見の取り扱い【修正】 「公園」には「公園施設」も含まれ、緑地についても公共施設となることから、「公園緑地」という表現については「公園・緑地」に修正いたします。 「公共建築物などの」という表現を「公共建築物等の」に修正いたします。 「公共施設の整備等」という表現については、「公共施設の整備・維持管理」に修正いたします。 「関係各部署と調整しながら推進する体制をつくります。」としているのは、公共施設の景観については、市内部だけではなく国や県等の関係機関とも連携し、調整を図りながら推進していくことを考えておりますが、「関係各部署」という表現が「市内部の部署」と混同されることから、「関係各部署」を「関係機関」に修正いたします。
2	当市は、形が出来上がった旧態依然とした都市にはない、未だ白紙の状態であり未来に向かって絵を描ける現状にある。自由に所有使用できるとは云え、土地は国民全体の公益に資するべきものである。国・県が国土全体の発展を期したURの千葉NT事業により住み易い街日本一となった。但し、高額の高総線解決にならない千葉NT中央駅近郊の物流倉庫群は都市景観のみならず土地利用からビジネス街開発による通勤客増加を削ぐ立地で、交通と国土の相乗効果のない土地利用である。かつて舟運で栄えた木下地区の再興を考え、集積物流センターを北千葉道路呼塚バイパスに連結する道路を整備し、木下のゼロメートル住宅群を移転させ、将来への生命の安全と経済の発展に資するよう都市作りすべき。当景観計画（案）は良い政策である。 将来ともに発展させるため京都、札幌の如く整然と区画され景観が保全され都市、自然、歴史遺産が保たれた町とすべき。ミニ開発は厳禁。	意見の取り扱い【その他】 景観計画（案）では、市街地については「まちに賑わいと秩序、落ち着きと愛着が保てる景観づくり」、自然については、「水辺や緑が織りなす潤いややすらぎを守り、活かす景観づくり」、歴史文化については、「歴史・文化の風情を大切にし、次世代へと継承する景観づくり」を基本方針としております。 今後、計画に基づいて良好な景観の形成・保全を推進してまいります。